

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	上富福祉第 号
		決裁期日	平成30年12月10日
名 称	第3回上富良野町地域福祉計画策定委員会		
日 時	平成30年12月7日（金） 18時00分～21時00分		
場 所	保健福祉総合センターかみん 2階研修室		
出席者	(委員) 別紙名簿のとおり (出席委員12名、欠席委員3名) (役場) 鈴木課長、武山主幹、末永主査、飯村主査、島田主事、大井主事 (ぎょうせい) 吉岡研究員		
内 容	<p>会長の司会により議事進行。</p> <p>議題</p> <p>1. 「町民アンケート調査結果報告書<概要版>」について</p> <p>事前配布済の「町民アンケート調査結果報告書<概要版>」の内容に基づき、説明を行う。</p> <p>【意見】</p> <p>(委 員) アンケート回答者の属性が示されているが、町全体での属性はどうなっているか。</p> <p>(事務局) 12月1日現在の人口は10,801人となっており、65歳以上の高齢者数は3,400人を超えているが、15歳未満の年少人口は年々減少しており本町も少子高齢化の傾向が年を追うごとに強まっている。</p> <p>(委 員) アンケートの有効回収率が39.0%であるが、物足りない結果では。</p> <p>(事務局) 第6次総合計画策定時に実施したアンケートでも、回収率が36%に留まっており40%には届かない状況である。</p> <p>2. 「第3次上富良野町地域福祉計画（検討原案）」について</p> <p>事前配布済の「第3次上富良野町地域福祉計画（検討原案）」の内容に基づき、章ごとに説明を行う。</p> <p>① 「第1章 計画の策定にあたって」及び「第2章 町の地域福祉を取り巻く現状と課題」について</p> <p>【意見】</p> <p>(委 員) 素案の内容はこれから更に直っていく事を前提にしているものか、そのままの内容でいくものなのか。第二次計画策定時にも自分に関わっていたが、これまでの計画を終えてみてどうだったのか、そんな声が前回の計画策定時も寄せられていたと記憶している。今回の計画は内容的に二次計画に似通ったところもある。例えば、ボランティアは意識の高い地区では出来ているがそうではない地区もある</p>		

会議等結果報告書

中、担い手がどんどん減少しているが、「推進します」ではなく、現状で足りない部分を今後どう補っていくかを考えていくべきではないか。全体的に「ぼやっとした」内容の計画だと感じるが、新しく取り組むべき事項もたくさん盛り込まれており、ほぼすべての担当が「保健福祉課」と「社会福祉協議会」。福祉課の現状の人員でこんなに担えるのか？というのが率直な印象。福祉行政のマンパワーが不足しているという検証評価や振り返りがあれば反省点として今後に活かしていけるのではと思う。実際にはサービス事業所などへお願いしていく部分もかなりあると思うが、責任を持ってどこが主体的に担っていくべきなのか、責任の所在も明確に示していかなければならない。

② 「第3章 計画の目指す方向」について

【意見】特になし

③ 「第4章 計画の内容 基本目標1. 分野横断的な取組の推進」について

【意見】

(委員) P34の「近隣住民による見守り・声かけの促進」に「啓発」という表現があるが、どういった意図か。

(事務局) ご近所へ広報等を用いた啓発を行うことで、見守り等、気づきの機会の重要性について知ってもらいたいという意図である。

(委員) ここでの内容は「啓発」などの抽象的なものではなく、具体的にどのようにいった取り組みへ繋げていくべきなどと、具体化した内容を掲げるべきではないか。

(事務局) アンケートの対象から外れた方の中にも、地域での見守りの必要性に理解が及んでいない方が相当数いると思われるので、そういった方々への啓発活動は今後も継続していくべきと考える。

(委員) 過去にはヤクルト配達員が配達先への声かけを通じ、少なからず異変等の気づきがあったと聞いている。例えば、回覧板をドアに掛けるのではなく、必ず手渡しすることでも安否確認の観点からすると相当違うと思う。こういったことを町全体でやっていきましょう、知っていただきましょうという意であると解釈している。実際に地域活動でも、老人クラブやラジオ体操などの行事から「今日はあの人がいないな」など、参加者が互いの安否を気に掛けている部分はある。

④ 「第4章 計画の内容 基本目標2. 支え合う意識の醸成と人づくり」について

【意見】

(委員) 「人権啓発の推進」においては、いじめや虐待を受ける側だけではなく、至ってしまう側のケアについても触れるべきではないか。

⑤ 「第4章 計画の内容 基本目標3. 地域福祉活動団体等の育成・支援」について

内 容

会議等結果報告書

【意見】

(委員)「有償ボランティア」の取扱いが特に触れられていないが、記載は必要では。ボランティアで草刈作業をやった時には燃料代等の経費が掛かる。そこをわずかでも手当してもらえると筋道がつけば、まだまだボランティアに踏み出してくれる人がいると思う。

(事務局) ボランティア事業はこの先このままでは立ち行かない。これまでボランティアに関わってきた人達の思いを聞きながら、更に踏み込むためにどうしたらいいかを考え、新たなボランティア事業の発掘に力を入れていきたいと考える。

⑥ 「第4章 計画の内容 基本目標4. 自殺予防の推進(上富良野町自殺対策計画)」について

【意見】

(委員) ゲートキーパーについて説明を求める。

(事務局) 自殺を思い留まらせ、共に打開策を考え応援していく役割を担う人をこのように呼称し、家族や親族、行政職員以外の方にもその役割を担っていただけるよう求めることとしている。ゲートキーパーについては、枠外に説明文を記載したいと思う。

(委員) 私の知る限りでは、今年町内で2名の方が自ら命を絶たれたと思うが、1名の方は私が関わりのあった方で、救ってあげることが出来なかった。死を覚悟された方はSOSを出さず、その意を汲み取ることが難しい。小さなSOSを発信していたのかもしれないが、結果的に対応を考える暇もなく亡くなられてしまった。自殺予防対策は最後まで責任を持って誰が担うのか、SOSサインが日常生活のどこにあるのか等、様々な仕組みづくりや向き合う人間のスキルアップが重要。SOSの出し方に関する教育は児童・生徒に限らず、大人を対象にした教育の場があってもいい。

⑦ 「第5章 上富良野町成年後見制度利用促進計画」について

【意見】

(委員) なないろニカラでは1件成年後見を受任しているが、職員が手一杯であり相当無理が掛かっている状況。被後見人の権利擁護を行う立場にあるが、利益相反等不正に至る権限までも有しているのは、本来の後見人があるべき姿ではないと思う。成年後見制度に関しては、速度をあげつつ実効性のある計画になることを望んでいる。

⑧ 「第6章 計画の推進」について

【意見】

特になし

内容

会 議 等 結 果 報 告 書

3. その他

(事務局) 今後パブリックコメントとして12月25日号の広報かみふらの誌面に記事を掲載し12月25日～1月24日までの一か月間、広く意見を募ることとしている。次回会議には正式な計画として皆様にお諮りすることとなる。また、本日欠席された委員から日中開催について打診をいただいていることもあり、次回は平成31年2月12日(火)の13時からの開催としてよろしいかお伺いする。

(各出席委員の了承を得て閉会。会議終了21:00)

内 容

上富良野町地域福祉計画策定委員会委員名簿

平成 30 年 7 月 11 日から平成 31 年 3 月 31 日

区分	所属団体・機関等の名称	氏 名	12月7日 出 欠
障害者団体	上富良野町身体障害者福祉協会 副会長	山 本 秀 男	×
	手をつなぐ親の会 会長	佐 藤 祥 一	○
	つばさ会 会員	宮 崎 守	○
	NPO法人 なないろニカラ 代表理事	二 宮 利 和	○
福 祉 団 体	上富良野町社会福祉協議会 事務局長	角 波 光 一	○
	社会福祉法人わかば会 理事 (ケアハウスかみふらの施設長)	谷 口 靖	○
	社会福祉法人富良野あさひ郷 特別養護老人ホーム北の峯ハイツ 生活支援課長	檜 野 真由美	○
	ボランティアセンター運営委員会 委員長	川 鍋 まさ子	○
その他団体	上富良野町女性団体連絡協議会 副会長	村 上 孝 子	○
	上富良野町老人クラブ連合会 副会長	芳 賀 実	○
	上富良野町民生児童委員協議会 副会長	山 本 勉	○
	上富良野町商工会青年部 部長	加 藤 雅 也	×
	上富良野町住民会長連合会 会長	巽 俊 明	×
町 民 公 募	公募委員	谷 江 彩也子	○
	公募委員	高 橋 美 来	○